

講演名：合意形成の技法

- メディエーション（調停） -

日時：平成20年7月14日（月）14:00～18:00

会場：道銀ビル

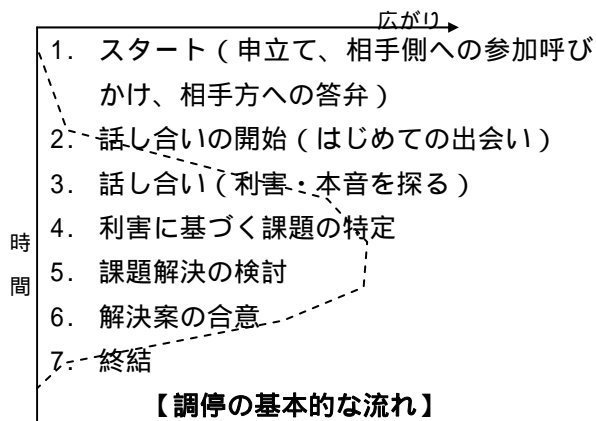
講師：非営利法人（NPO）PI-Forum 入江 秀晃 氏
（早稲田大学紛争交渉研究所客員研究員）

参加者：34名

講演概要：

第1回のテーマであるメディエーション(調停)とは、争っている当事者双方自らが解決方法を見つけ出してゆく話し合いの方法で、当事者の間に第三者の 調停人(メディエーター)が入り、話し合いを促進する役割を担います。

ここではスクールで実践した内容を紹介します。



【傾聴トレーニング】

人の話を聞く 当たり前の事だが難しい。傾聴トレーニングでは「話を広げる」「話を収束させる」等を意識した会話を実践しました。普段の会話から相手の意図を読み取る訓練が大事であると痛感しました。（そして、普段自分はいかに相手の話を聞いていないかということも自覚しました...）

【はじめての出会い（調停の開始）】

ここでは、調停人と2人の当事者が始めて集う際には「雰囲気づくり」、「話し合いのルール確認」などが重要であることを学びました。特に、相手の呼び方を確認する、相手の話しは聞く努力をするように促す、といった一見軽微な事項に思えることも、あえて始めの段階できちんと示すことが大事であると感じました。



【講演される入江秀晃氏】

【調停ロールプレイ】

スクールの最後は、3人のグループで、当事者と調停人の役割を演じ、ロールプレイを行いました。

調停人が、話し合いの中で両者の本音を聞きだし、課題を整理し、合意形成を図るための訓練です。



【ロールプレイの様子】

まず、全員に共通事項として紛争の内容が示され、さらに当事者にはそれぞれの秘密事項が示されます。

私は当事者役でしたが、調停人を通して話し合いをすることで、自分の譲れる点、譲れない点が徐々に明確になるのを感じることができました。

合意形成を図る技法は、普段の生活においても活用できる部分が多いため、是非とも身につけたい技法であると感じました。

（文責：青年技術士交流委員会 井上涼子）